



PRESS RELEASE

令和 7 年 6 月 17 日

公開シンポジウム「LGBTQ の子どもはライフプランを立てられるのか？」LGBTQ 当事者の家族形成全国調査から見た「生殖医療現場の声」LGBTQ 当事者の様々な家族からの伝言（メッセージ）

◆発表のポイント

- ・すべての子どもにとって、ライフプランを考える上で、差別を受けず、教育や就職の機会を奪われず、結婚し家族を持つことができる社会であるかは重要です。
- ・2025 年 7 月 5 日（土）、「LGBTQ の子どもはライフプランを立てられるのか？」を開催します。
- ・2023 年の「LGBTQ 当事者が結婚・子どもを持つことと法律」、2024 年の「LGBTQ 当事者の生殖医療と子どもへのライフプラン教育」に続き、今回がシリーズ最終のシンポジウムです。
- ・2020 年に成立した「生殖補助医療民法特例法」、そして現在、国会に提出されている「特定生殖補助医療に関する法律案」では、LGBTQ 当事者の視点が含まれていないことが問題とされています。生殖医療の現場から、法律家から、そして、当事者や家族からの声を聞き、議論します。

公開セミナー「生と死の倫理」では、毎年、その時の社会的課題に着目し、倫理的側面から議論を続けてきました。2023 年は、6 月に LGBT 理解増進法が成立、10 月には最高裁が「性同一性障害特例法」の 4 号要件（生殖不能要件）を違憲と判断するなど、性の多様性をめぐって日本社会が大きな転換点を迎えた年となりました。しかし、依然として LGBTQ 当事者の就学、就労には不自由さを感じています。また、ライフプランを立てる上で重要である結婚し子どもを持ち家族を作ることに関しては、困難な点が多く残っています。

第三者の精子や卵子を用いた生殖医療により生まれた子どもの親を確定する法律である「生殖医療民法特例法」が 2020 年に成立しましたが、その対象については言及されていません。2025 年 2 月に国会に提出されている「特定生殖補助医療法案」では、第三者の精子や卵子の提供を受けることができるのは法的な夫婦に限定されることになっています。このため、多くの LGBTQ 当事者が公式に実施できなくなり、海外に渡航せざるを得なくなったり、リスクの高い SNS 上での精子の取引など、水面下で実施されるようになったりする可能性が高まっています。

政府も推進している「性と生殖に関する健康と権利 (Sexual Reproductive Health and Rights: SRHR)」の中では、包括的性教育やプレコンセプションケアの重要性が叫ばれています。

2023 年の「LGBTQ 当事者が結婚・子どもを持つことと法律」、2024 年の「LGBTQ 当事者の生殖医療と子どもへの教育」に続き、今回がシリーズ最終のシンポジウムです。すべての子どもたちが、SRHR の視点で性の多様性を理解し、さらに LGBTQ の子どもたちが、家族形成を含むライフプランを立てられるのか？生殖医療の現場から、法律家から、そして、当事者や家族からの伝言（メッセージ）を聞き、議論します。



PRESS RELEASE

<開催概要>

1. 名 称 公開シンポジウム
『LGBTQ の子どもはライフプランを立てられるのか?』
様々な家族からの伝言
2. 日 時 2025 年 7 月 5 日 (土) 13:00~16:00
3. 場 所 岡山大学 (鹿田キャンパス) MUSCAT CUBE (マスカットキューブ) 3 階講義室
4. 対 象 者 どなたでも参加いただけます。
5. 申 込 方 法 参加事前申し込みは不要。
6. 参 加 費 用 無料。無料駐車券あり。

<補足>

詳しい情報は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

◆研究者からのひとこと

日本 GI (性別不合) 学会理事長、トランスジェンダーに関連する法律と医療を考える会 (プロジェクト TGD) 代表として、性別不合 (性同一性障害) 当事者の戸籍の性別変更のための特例法の改正、ホルモン療法の保険適用、LGBTQ 当事者の家族形成などの課題解決に向かって活動中です。

Yahoo! ニュース個人オーサー・サイト「生殖とジェンダーの今」
<https://news.yahoo.co.jp/byline/mikiyanakatsuka> でも発信中。

中塚幹也



■研究資金

本研究は、2025 年度 科学研究費補助金基盤研究 (B) 『LGBTQ 当事者の家族形成実現とライフプラン教育の社会実装への相互深化モデル形成』を受けて実施します。

■補足

情報は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>



<お問い合わせ先>

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室

教授 中塚幹也

(電話番号) 086-235-6538 (FAX兼)

(メール) josan@okayama-u.ac.jp



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

